

記入日	2023年5月21日
所属学部・学科 ／ 研究科・専攻	<input type="checkbox"/> 理工学部 学科 専攻 <input checked="" type="checkbox"/> 理工学研究科 建築・都市学 専攻国際建築都市デザイン系
留学先国	シンガポール
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: シンガポール国立大学 現地言語: National University of Singapore
留学期間	2022年8月～2023年4月
留学した時の学年	1年生(渡航した時の本学での学年)
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	School of Design and Environment <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
出発年月日	2022年7月28日
帰国年月日	2023年4月25日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 8月上旬～12月上旬 2学期: 1月上旬～5月上旬 3学期: (記入例/1学期: 4月上旬～7月下旬, 2学期: 9月中旬～2月上旬)
学生数	42,578人
創立年	1905年



留学にかかった費用(概算)

留学費用項目	現地通貨(SGD)	円	備考
授業料		0 円	
宿舍費	6800S\$	697442 円	
食費	4500S\$	461542 円	
図書費		円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	1291S\$	132490 円	形態: 明大サポート海外旅行保険プラン2
渡航旅費	900S\$	92308 円	航空費、ワクチン接種証明書発行等含む
雑費	900S\$	92308 円	交通費
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	14391S\$	1476014 円	

出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

行く前に同じ大学に留学した人、3人ほどに留学時のロードマップを伺い、自分なりの人生設計を済ませておいたこと、OBOG訪問をし、事前に留学中でのインターン等の手配を済ませておいたことはしておいてよかったと思います。英語力、特にリスニングと単語はもっと勉強しておくべきだったと感じています。

留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類: Student pass	申請先: ICA(学校が仲介)
ビザ取得所要日数: 4 か月 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 200S\$程

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?

学校のメールに従う。エイズ等に関する健康診断書

具体的な申し込み手順を教えてください。

学校のメールに従う。記入漏れがなければ、順調に IPA letter を手に入れ、入国後、ビザの発行を ICA か学校(代理)で行います。1 か月以内に取得できない場合は随時、延長手続きが必要です。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?

なし

ビザ取得に関して困った点・注意点

ビザの発行をするために事前予約が必要だったのですが、予約が1 か半月先まで埋まっており、IPA での滞在時期(基本一か月)の延長申請を要されました。学校での代理発行も可能ですが、そちらも予約が一瞬で埋まってしまうので、早めにビザ取得の予約を済ませておくべきだと思います。

留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など)

1年行くのであれば、銀行口座開設のための、電話番号、住所の取得をいち早くしておくべきだと思います。

現地到着後のながれ					
1.到着時の様子					
利用航空会社	ZIPAIR				
渡航経路	直行便				
渡航費用	チケットの種類: 航空券代:約40000円(<input type="checkbox"/> 往復, <input checked="" type="checkbox"/> 往路のみ, <input type="checkbox"/> 復路のみ)				
航空券手配方法	Google flight ※利用した旅行社・旅行サイト, ガイドブック, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	Changi airport	現地到着時刻	22:00		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input checked="" type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	約25分 (空港から家まで)				
空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等					
バスやタクシーはクレジットカード(タッチ決済)か指定の交通系カード(EZ-link)が必要になるので, 空港か駅内で購入してください。					
大学到着日	7月29 日22:30時頃				
2.住居について					
到着後すぐに住居入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。			
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()				
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()				
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(中華系の家族二人)				
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()				
住居の申込み手順	大学の寮の抽選に落ちたため、ネットを介して、エージェントを雇って借りました。もし住居を安く借りたい場合は Facebook を利用すれば、安く借りれます。				
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?滞在先の感想も書いてください。					
渡航前。滞在先は前期と後期で変えました。学校の寮には住めず、毎日学校まで1時間かかるのは億劫だったものの、シンガポール人のルームメイトがとても親切で彼らの住居環境や文化などに触れるいい機会になりました。					
3.留学先でのオリエンテーションについて					
オリエンテーションの有無	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった				
日程					
参加必須ですか?	<input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加				
参加費用は?	<input type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)				
内容と様子は?					
留学生用特別ガイダンス	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった				
授業開始日	8月11日から				
その他、渡航してから必要な手続きについて・現地情報					
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか?いつ、どこで、方法は?日数、料金は?トラブルは?					
ビザが入国してから一か月以内に取得できない場合。延長申請を WEB を通して行います。					
2. その他現地でした手続きは?(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は?トラブルは?					

3. 現地で銀行口座を開きましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？	
学校から発行された学生証明書、携帯会社からの証明書、住所が必要。私の場合は証明書の記載間違い等があり、開設までに2カ月ほどかかりました。友人に助けをもらい、証明書を発行しました。	
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？	
コンビニで購入。	
5. 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
なし	
6. 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
なくしものをした際に、学校内で相談窓口で相談しました。	
7. 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？	
なし	
8. パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。	
公共施設は基本フリーWi-Fiがありません。使いたい場合はWirelessSGのVPNを自分の使いたい機器に事前ダウンロードが必要です。学校内のWi-Fiは安定しており、ストレスはありませんでした。	
9. 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
液体類(洗剤、シャンプー等)は非常に物価が高いです(約日本の3倍)。	
履修科目と授業について	
1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前に(4月10日頃)	
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 志願書類に記入して登録 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他()	
<input checked="" type="checkbox"/> 到着後に(7月22日頃)	
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 国際オフィス等の仲介 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他()	
登録時に留学生として優先されることは	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった
優先が「あった」方はどのように優先されましたか？	
優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？	
日本で事前に行う。二回目の履修登録で再度とりたい授業を再申請しましたが、とれませんでした。授業が始まってから直接先生にメールを送り、履修することができました。	
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？ また希望通りの授業が取れましたか？	
できます。本当に取りたい場合は先生か学部長に直接メールしてください。	
卒業後の進路について	
1. 進路	
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2. 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など	
3. 上記の項目で就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)	

4. 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるときに注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

私は「留学」の立ち位置を国外で働くための第一ステップとして設定しました。なので就職活動は海外に支社をもつ日系企業か、シンガポールの会社を軸に探しました。

留学をする前に、シンガポールに支社を持つ日系企業に企業訪問やメール等をし、シンガポールでインターンや企業訪問をさせていただけるよう準備しました。また、NUSはジョブフェアや企業訪問、就職相談を積極的に行っており、生徒はそれに気軽に参加できるため、自分も参加し、様々な会社の方と積極的にお話ししました。アドバイザーには週に一回会っていただき、CVやポートフォリオの添削をしていただきました。結果、アメリカの設計会社からインターンのオファーを頂けたため、現在は帰国せず、そのままシンガポールでインターンを行っています。

もしシンガポールで働きたい方がいた場合は、シンガポールに支社を持つ多様性のある海外の会社がいいと思います。シンガポールの企業は外国人を積極的に取るメリットがあまりないのと、法律で外国人雇用枠が現在かなり狭められているため、就職する分には厳しくなる可能性があります。(特にコロナ以降は厳しくなっただけです。)

また、NUSの正規生と一緒に就職活動してみると、とても分かりやすいロードマップで就職活動ができると思います。特に正規留学生は状況が交換留学生と似ているため、相談しあったりすると、なおよいかもしれません。

5. 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6. 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7. その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	通学	通学	通学	通学	通学		
9:00	授業	自習	自習	授業	自習	ワークショップ	自習
10:00	授業	自習	自習	授業	自習	ワークショップ	自習
11:00	授業	自習	自習	授業	自習	ワークショップ	自習
12:00		自習	自習	授業	自習	ワークショップ	自習
13:00				授業			
14:00		自習	自習	授業	自習		自習
15:00	授業	自習	自習	授業	自習		自習
16:00	授業	自習	自習	授業	自習		自習
17:00	授業	自習	自習	授業	自習		自習
18:00		自習	自習		自習		自習
19:00							
20:00	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅		
21:00	自習	自習	自習	自習	自習		自習
22:00	自習	自習	自習	自習	自習		自習
23:00	就寝	就寝	自習	就寝	就寝	就寝	就寝
24:00							

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
28 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 14 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ADVANCED ARCHITECTURAL INTEGRATION	
科目設置学部・研究科	school of design and environment
履修期間	semester 1
単位数	4
本学での単位認定状況	2 単位認定(Advanced Sustainable Design)
授業形態	講義、グループワーク(リサーチ、設計) (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に210分が1回
担当教授	Shinya OKUDA
授業内容	前半で建築のテクノロジーの実例とそのシステムをグループごとに調査する。後半は、前半で得た知識を基に一つの建物をそのテクノロジーを用いてデザインする。
試験・課題など	レポート 2000 words, プレゼン2回
感想を自由記入	毎週異なる分野の講義を世界中の教授から受けることができ、とても新鮮です。また建築テクノロジーの最先端を学んだことがなかったため、深くまで学ぶことができ、楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
OPTIONS DESIGN RESEARCH STUDIO 1	
科目設置学部・研究科	school of design and environment
履修期間	semester 1
単位数	8
本学での単位認定状況	8 単位認定(Architecture and Urban Design Studies 2, Advanced Design Studio B)
授業形態	エスキス(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に540分が1回
担当教授	Thierry Kandjee and Petra Pferdmenges
授業内容	人間とそれ以外の動物がどのように共生していけるのかをテーマに自由に建築を設計する
試験・課題など	中間発表、プレファイナル、ファイナル。プレゼン計3回
感想を自由記入	M1、M2が混在するため、先輩たちからの学びが非常に多かったです。またプレゼン方法が自由なため、準備すればするほど最終成果物のクオリティが高くなります。こだわりつけるところが楽しかったです。またスタジオは21個あり、その中から自分の好きなトピックを選べるため、選択権が自分にゆだねられているところも、よかったですと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
COLOURS, MATERIALS & FINISHING			
科目設置学部・研究科	Industrial design		
履修期間	semester 1		
単位数	4		
本学での単位認定状況	0 単位認定		
授業形態	講義、ワークショップ(現地の工場視察) (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授			
授業内容	工業製品のデザインに関して、色、素材、仕上げ材の選択をどのように正当化するのか、その方法を学ぶ授業		
試験・課題など	2回の工業製品のデザイン(素材、色のみ)案の提出		
感想を自由記入	たくさんの色や素材をどのように選ぶべきか、そしてそれがどのような効果をもたらすのかは、建築の設計分野にも通ずる部分だと思います。先生も優しく、純粋に異なる分野(インダストリアル)のデザインの仕方を学ぶことができるいい授業です。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
CONTEMPORARY THEORIES			
科目設置学部・研究科	school of design and environment		
履修期間	semester 2		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2 単位認定(Advanced Methodology in Architecture)		
授業形態	講義、チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Federico Ruberto		
授業内容	建築に限らず、そのほかの様々な分野の生成(設計)現代理論を学ぶ授業		
試験・課題など	400words x 5, 2000 words		
感想を自由記入	毎週、哲学書等を読まなくては行けなく、またその分野の英語に慣れていなかったため、とても大変でした。ただ未邦訳の本や、哲学、そして現代の建築思想等を学ぶことができ、とても新鮮でした。また修士論文の練習といった意味合いもある授業であるため、最終エッセイは自由にテーマ決めすることができたため、自分の興味ある分野を少し深堀することができるいい機会でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
OPTIONS DESIGN RESEARCH STUDIO 2			
科目設置学部・研究科	school of design and environment		
履修期間	semester 2		
単位数	8		
本学での単位認定状況	2 単位認定(Architecture and Urban Design Studies 3)		

授業形態	エスキス(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 540 分が 1 回
担当教授	Bobby Wong
授業内容	Transgression をテーマに、都市における逸脱行為やマイノリティーを許容する巨大建築の提案
試験・課題など	中間発表、ファイナル。プレゼン計2回
感想を自由記入	シンガポールでしか提案できないような巨大建築を設計することができて、とても新鮮でした。ただ自分の取りたい教授のスタジオが必ずとれるわけではないので、(スタジオは抽選で自分の希望した教授のエスキスを受けられます。自分は3番目に希望した教授でした。)そういった部分は切り替えて与えられた環境内で全力を出し切れたので、よかったです。

留学に関するタイムチャート

2022年 1月～3月	語学勉強
4月～7月	語学勉強、卒業設計
8月～9月	卒業設計
10月～12月	出願、面接、卒業設計
2023年 1月～3月	卒業設計、語学勉強
4月～7月	語学勉強、NUS への申請、OB,OG 訪問・インターンのための面接
8月～9月	NUS 一学期中間発表、ワークショップ、インターン
10月～12月	NUS 一学期末試験、ポートフォリオ作成開始、ワークショップ
2024年 1月～3月	二学期中間発表、ジョブフェア、企業訪問、面接
4月～7月	二学期期末試験、インターンスタート
8月～9月	インターン
10月～12月	インターン

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>私は大学四年間、建築を学ぶにつれて、設計者の文化的背景や価値観によって、設計の仕方が変化するのではないかという仮説を立てました。そのため、他国では建築設計がどのような価値観のもと、設計されているのか、またどのような建築が評価されているのか等、日本との違いを認知し、自分の建築に対する見方をより広めたいと思ったため、留学をしました。また、一つのグループで様々な価値観を共有しながら建築を設計することに意義があると、私は実感しており、そのため、将来は多様性ある様々な人種の方たちと意見を交わしながら、建築の設計を試みたいと考えています。留学という行為を海外で働くための第一ステップと見立て、英語で建築を学ぶ機会を得るために留学しました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>英語力、特に単語力とリスニング力は必要だと感じました。まず単語力がないと本当に先生の話している内容がわからないため、ある程度、その特定の分野でよく使われる単語等を本などを読んで、学んでおくことをお勧めします。また NUS は世界中から生徒が訪れているため、仮にアメリカ英語が聞き取れる人でもシンガリッシュを聞き取ることは難しいかもしれません。様々な英語の話し方があるため、ユーチューブ等でほかの国の英語(例えばインド人など)の話し方に慣れておくと、よりスムーズに授業に参加できるのではないかと思います。また、建築設計に力を入れたい方はポートフォリオをあらかじめ作っていくといいかもしれません。みんなで見せ合ったり、意見交換をすることで、国ごとの設計スタイルがわかりとても楽しいです。また、自分のアイデンティティにもつながるので、建築設計が大好きな人にはお勧めです。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>NUS はアジアでトップの学校(参考:QS World University Rankings)であり、そのような有名校には多数の優秀な生徒がいると考えました。そのような環境下に身を置くことで、自分のレベル(最低基準)を底上げできると考えたため、選びました。また、NUS は約半数が留学生で構成されているほど他国の生徒を受け入れています。自分の留学の目的である、他国の設計手法の比較において、より多種類の国出身の方と会ってみたかったので、この学校を選びました。また公用語が英語なことも留学先として選んだ理由です。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>NUS 生はとても真面目で努力家が多いです。授業中は積極的に質問をしたりなど、主体性が強く、授業の密度が濃かったです。授業がない日も学校に集まり、みんなで勉強をして切磋琢磨していました。そして夏休み中はインターンをし、実務経験を積むものなど、学校期間外でも努力している人が多い印象です。</p> <p>勉学のみではなく、数多くの部活動も存在し、文武両道をしている人も多いです。また学校の広場では NUS の生徒はもちろん、学外の家族や犬の散歩、お年寄りなど様々な人が訪れて憩うことができる豊かな環境でした。気温は高いもの、緑が多く、木陰が多いため涼むことができる心地よい居場所が多いように感じました。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>NUS の寮に入れなかったのですが、わかりませんが、外部の国際学生寮に二学期目は住んでいました。他大学の人と友達になり、学校外の方と仲良くなれるいい機会なので、学校の抽選から外れてしまった方にはお勧めです。私の場合は大人数でのシェアルームであったため、文化や価値観の違い等により、いざこざが少しありましたが、毎日一緒にいられる仲いい友達が多いため、休日などはそのメンバーで遊びに行ったりしていました。また学校で学んだことをシェアしたりなど、他分野、他大学との比較をすることができたため、とても有意義な寮生活でした。</p>

<p>交友関係</p>	<p>私ははじめ、学校の寮に入ることができなかつたため、友達の輪に入るのに苦労しましたが、友達に“その人の友達”を紹介してもらうことで、積極的に交友関係を幅広く作っていきました。そして、話していくうちに本当にたくさんの多国籍の方たちと友達になることができました。特に留学生はみんな友達を欲しがっているため、気さくに話しかけてくれます。また NUS 生も、とてもやさしく気にかけてくれ、授業でわからないところなども協力してもらうことで、クリアしていくことができました。また、一学期目はシンガポール人の家族と一緒に住んでいました。とてもやさしい方たちで週末はシンガポールを車で案内してくれたり、ナショナルホリデーではみんなでパレードを見て食事をしに行ったり、中国新年の親戚が集まるパーティーに招待してもらい、みんなと新年を祝ったりなど、現地でしか体験できないことも多く学びました。</p> <p>学外活動も友達が声をかけてくれたことがきっかけで参加することができ、自分が予想もできないような様々なチャンスが友達によって数珠状につながっていくことをひしひしと感じました。</p>
<p>困ったこと、 大変だったこと</p>	<p>銀行口座の開設やビザの取得など、事務作業が非常に大変でした。銀行口座は NUS から発行された住所に関する書類や携帯会社から発行してもらう携帯所有証明書など、たくさんの書類を用意する必要があり、知らないことが多かつたためルームメイトに手伝ってもらい開設しましたが、開くまでに約2カ月もかかりました。ビザの取得は完全予約制なので、予約しないと取得できないのですが、空きが一月半後になっており、IPA レター（入国後一月はビザなしで滞在できる証明書）の期間を過ぎてしまうため、再度 IPA の延長申請をしなければならぬなど、スムーズに進むことが難しかったです。</p>
<p>学習内容・勉強 について</p>	<p>私は建築学を専攻していました。NUS の建築学科は学位がアートということもあり、建築の判断基準が、表現力（絵やパース。特に線画）に大きく偏っていたような気がします。日本特有の建築評価（例えば、建築を設計言語を用いて説明する等、言葉の説明が多い）に対し、シンガポールでは図面・パースのカラージュなどで一枚の絵や世界観を作るなど、表現に重きをおいており、留学開始当初は大きく戸惑いました。そしてスタジオでの毎週のプレゼン資料のレベルもかなり高く、一学期目はとにかく、現地生の提出物のレベルに追いつけるよう死に物狂いで、新しいソフトや表現技法を吸収することに集中しました。結果、自分のレベルも底上げされ、現地生に劣らない表現力を身につけられたと感じています。日本とは異なる評価軸だからこそ、大変ですが、頑張りがいがあると思います。</p> <p>またそのほかの授業も、大量のリーディングマテリアルが渡され、毎週読み込む必要がありました。リーディングの勉強だと考え、通学時間中に毎日英語の本を読むようにしていました。</p> <p>また建築学科特有ではありますが、日本と同様に哲学的な単語を好んで使う傾向があります。エスキスでの先生の言葉も普段聞きなれないような単語を使う回数が多かつたため、毎授業、録音をし、終わったあとにディクテーションを行い、わからない単語を覚えるようにしていました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>試験はなく、すべてレポートかプレゼンでした。基本的にレポート課題は自由度が高く、自分のやりたいことをレポートにすることができました。また、TA が毎週レポートの進捗度合を見て、ピックの相談等に乗ってくれたため、レポートの書き方等、わからないところも親身にサポートしてもらえたところがとてもよかつたと思います。</p> <p>課題やレポートでの求められている最低基準はかなり高いと自分は感じていました。日本でいた時のペースや分量で臨むと、終わらなかつたり、満足の行くところまで仕上げるができなかつたため、自分なりの最終課題までのロードマップを明確にし、遅くとも3週間前から最終プレゼン</p>

	<p>の準備をしていました。ただ、現地生もみな、そのくらいの時期からプレゼンボードを作っていたため、それが最低基準だったように感じます。また最終成果物提出の一週間前にプレ提出がありました。この日までにある程度の進捗度合を提出しなくてはならないため、生徒たちは早め早めに行動し、追い込まれているように感じました。結果、生徒全体の提出レベルが大きく上がっていたのではないかと感じています。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>私は友達の紹介で、学外の建築ワークショップに8月から留学が終わるまで、かかわっていました。そこではコミュニティをどのように作り上げるかをベースに工場で廃棄された木パレットを用いて、住民たちで空き地に家具を作るという試みでした。その地域は低所得者層から高所得者、またモスクや病院、中学校が存在するなど、多様な年代や経歴、人種や宗教が交じり合うポテンシャルの高い場所でした。その中心にある芝生で多様な人が”ものを作る”という一つのふるまいを共有することで、新しいコミュニティを作り上げようという目的が通奏低音として存在していました。</p> <p>そのワークショップは自分にとってとても考えさせられるトピックでした。約8カ月かかわっていたものの、大きなコミュニティを作ることはできませんでしたが(コミュニティは大体もつと長い年月をかけて生成していくもの)、毎月数人ずつそのコミュニティに参加し、結果自分の職業を生かしたワークショップ(例えばシェフによる料理教室や、デザイナーによるボディペイントなど)を彼ら自ら提案して企画し、運営するに至りました。とても楽しく、大きな経験になりました。</p> <p>また私は現地の中学校にアドバイザーとして呼ばれ、コミュニティに関する授業に参加する機会もありました。現地の子供たちと一緒にどのようにコミュニティを作っていくのか、またそのようなコミュニティを作っていくのは次の世代である子供たちであるため、とても有意義な授業に参加することができ、嬉しかったです。</p>
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと、アドバイス等</p>	<p>留学は他国の文化や価値観を学びに行くというよりも、それらとの比較を通して、自国や自分自身のことを客観的に理解する時間だと、私は実感しました。その”比較”を通して、自分はどのような人間で、どのような文化が好きで、どういったことを将来行っていきたいのか、自分のことを大きく内省できるいい機会ですので、将来を熟考する期間としてみるのができるのかなと考えています。他方で、2学期間だけの授業参加だけでは、学べる量に限度がありますし、飛躍的な成長を体感することができないかもしれません。なので、留学期間中にどれだけ体験する解像度を高め、それが自分の心に響くのかを意識して、過ごすことが大事だと考えています。</p> <p>なので、私が伝えたいことは、何かの軸を基に、その分野でとにかく「深掘り」をすることがとても大事なのかなと思います。他方で、人間関係等は広げていく必要があります。私の場合は、自分の想定していた留学生活の倍以上密度の濃い経験ができました。それは交友関係によって発生する「弱いつながり」のおかげだと確信しています。学問は自分の興味軸を深めつつ、交友関係はどんどん広めていって、留学前の自分の想定を裏切れるような楽しい留学体験にしてみてください。</p>